

I. 投稿から採否まで

1. 本誌に投稿される原稿は「消化管病学に関する基礎的および臨床的研究」全般に関する論文であること。
2. 著者（共著者を含む）は、
 - (1) 二重投稿でない旨を記した誓約書を提出する。
 - (2) 類似内容の既報あるいは他誌への投稿が存在する場合には、その論文との相違点について cover letter の中で説明する。
 - (3) 本学会の会員に限る。ただし、筆頭著者でない病理医・放射線医は必ずしも会員である必要はない。
 - (4) 会員全員が当該年度までの会費を納めている。
3. 本誌に投稿する際は、
 - (1) 文部科学省・厚生労働省・経済産業省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日一部改正）を遵守しているかについて cover letter の中に明記する。もし遵守していない（もしくはその必要がない）場合は、その理由を cover letter の中で明記する。
 - (2) 日本消化管学会の「医学研究の利益相反に関する指針」に基づき、自己申告による COI 報告書を提出する（COI 報告書はホームページに掲載 URL：<https://jpn-ga.jp/about-jga/coi/>、様式2-Bをダウンロードして利用）。本報告書の内容は論文の採否には影響しないが、編集委員会は日本消化管学会の「医学研究の利益相反に関する指針」および同指針の細則に基づき、利益相反関係を投稿論文の末尾に記載し公表する。
 - (3) 投稿時チェックリストにてすべての項目を確認し、① cover letter ② 誓約書③ チェックリスト④ 投稿原稿一式⑤ 自己申告による COI 報告書を送付する。
4. 論文の内容が臨床研究の場合は、
 - (1) 被験者からのインフォームドコンセントおよび施設内倫理委員会（もしくはそれに該当するもの）による研究計画の承認が得られていることを論文中に明記する。
 - (2) 動物実験の場合には施設のガイドラインに準拠していることを論文中に明記する。
5. 未承認の薬剤の投与や未承認の医療技術が含まれている場合は、
 - (1) その点を本文中に明記する。
 - (2) 資金・薬品等の供与を受けている場合は、本文中に明記する。
 - (3) 抗腫瘍薬などの有害事象を生じうる薬剤を用いた場合は、4. 項に掲載されているような適切な委員会の審査を受けていることを本文中に明記する。
6. 論文の採否は、編集委員会が指名した査読者（原則2名）による peer review に基づき編集委員会がこれを決定し、筆頭著者に通知する。
7. 掲載論文の著作権は、掲載決定日を起点に日本消化管学会に帰属する。

II. 原著および症例報告

タイトル頁、要旨、本文、文献、英文要旨、表、図の説明、図の順にまとめること。タイトル頁には論文タイトル、索引用語、本文字数、著者名、所属のほか責任著者の氏名およびメールアドレスを記入する。詳細は投稿要領を参照のこと。

III. 総説

総説は、編集委員会からの依頼によるものと一般投稿からのものからなり、いずれも査読を受けてその掲載の可否が決定される。実際については投稿要領を参照のこと。

IV. 用語および単位

1. 新かなづかいを用い、人名は原語、薬品名は一般名で標記することが望ましい。医学用語は、日本医学会の用語辞典に準ずることが望ましい。
2. 略語を用いる場合には初出時には必ず full spell を示す。ただし、慣用略語（ALT など）はこの限りではない。
3. 度量衡には mm, mg, mL, mol などの SI unit を用いる（ただし、例えば T. Bil などモル濃度で表記する必要はなく、慣用の mg/dL などでもよい）。
4. 年号は西暦とする。
5. 症例報告の場合、患者が特定できないように配慮する。

V. 文献

1. 引用順に番号を付し、本文中に肩付番号を付す。
2. 雑誌の場合は ISSN (International Standard Serial Number) の付されている文献の引用を原則とする。欧文誌も和文誌も、著者、論文タイトル、誌名、通巻、頁-頁、西暦の順にこれを記す。著者数は3名までを記載し、それ以上は「他：」あるいは「et al.」として省略する。欧文誌名は Index Medicus に準拠した略名を用いる。また、和文誌には略名を用いない。書籍の場合は著者名、論文タイトル、書名、版数、編著者、発行所、発行地、頁-頁、年の順に記す。
3. 掲載が確定していないものは文献として引用しない（in press は引用可能であるが、投稿中、投稿準備中のものは文献として引用できない）。
4. オンラインで発表されていて、号や頁が与えられていないものは、DOI (Digital Object Identifier) が付与されている場合は明記する。

(例)

【雑誌の場合】

著者名、著者名、著者名、他（編）：論文タイトル、誌名、通巻：頁-頁、発行年
欧文誌：

- 1) Sasaki H, Nagahara A, Hojo M, et al: Ten-year trend of the cumulative *Helicobacter pylori* eradication rate for the 'Japanese eradication strategy'. *Digestion* 88: 272-278, 2013 (doi: 10.1159/000353313)
- 2) Christie J, Shroff S, Shahnavaz N, et al: A randomized,

double-blind, placebo-controlled trial to examine the effectiveness of lubiprostone on constipation symptoms and colon transit time in diabetic patients. Am J Gastroenterol: 2016 Dec 6 (doi: 10.1038/ajg.2016.531) [Epub ahead of print]

和文誌：

- 1) 伊藤公訓, 佐々木敦紀, 辰上雅名, 他: Helicobacter pylori 陽性胃癌と陰性胃癌の比較—臨床の立場から. 胃と腸 42: 981-988, 2007

【書籍の場合】

著者名, 著者名, 著者名, 他 (編): 書名, ●版. 発行所, 発行地, 発行年

著者名, 著者名, 著者名, 他: 引用箇所タイトル: 書名, ●版. 著者名, 著者名, 著者名, 他 (編), 発行所, 発行地, pp 頁-頁, 発行年

和文書籍：

- 1) 日本消化管学会 (編): 食道運動障害診療指針. 南江堂, 東京, 2016

欧文書籍：

- 1) Solcia E, Arnold R, Capella C, et al: Neuroendocrine neoplasms of the stomach: WHO Classification of Tumours of the Digestive System, 4th ed. Bosman FT, Carneiro F, Hruban RH, et al (eds), IARC, Lyon, pp 64-68, 2010

【ホームページから引用する場合】

●●学会 (編): ●●●●ガイドライン, 20XX 年度版, 20XX
http://www.●●●●.jp/pdf

- 1) 日本神経内分泌腫瘍研究会 (編): 膵・消化管神経内分泌腫瘍 (NET) 診療ガイドライン, 1.1 版. 2015
http://jnets.umin.jp/pdf/guideline001_1s.pdf

【厚生労働省助成研究から引用する場合】

- 1) 木下芳一, 松井敏幸, 松本主之, 他. 好酸球食道炎・好酸球性胃腸炎の疾患概念確立と治療指針作成のための臨床研究. 平成 21 年度総括・分担研究報告書. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業, 2010

5. 症例報告やメタ解析などの文献検索に関しては, 検索方法, 検索に用いたキーワードおよび検索の期間を本文中に明記する.

VI. 投稿要領

1. 論文の投稿はメールアドレス添付もしくはファイル転送サービス, CD-ROM で学会事務局に送付する. 10 M を超える場合はファイル転送サービスを利用するか, CD-ROM に保存して記録の残る形で郵送する. 論文は, 本文 (文献も含む), 英文要旨, 図, 図の説明, 表についてそれぞれファイルを作成する.
2. 原稿は Microsoft 社の Word を利用し, A4 縦用紙に横書き (原則 12 pt でダブルスペース) とし, 標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシックなど) を利用して頁も記載する. タイトル頁には本文字数 (スペースを含めない) を記す.
3. 英文要旨については, 本文の内容に沿って作成し, 海外からも論文内容が理解できるような文章とする. Native speaker によって英文チェックを受ける.
4. 図は doc (x), xls (x), ppt (x), jpg, tiff などのオリジナルファイルとする. 印刷原稿の解像度は 300 dpi 以上とする. 図表の説明は日本語, 英語を問わないが, いずれかに統一する. ただし, 「総説」はできるだけ日本語とする.
5. 表は標準的なフォント (MS 明朝, MS ゴシックなど) を用いた Microsoft 社の Excel で作成する.
6. 図, 表には, 見出し (caption), 説明文 (legend) をつける.
7. ファイルには次のように半角英数字を用いて名前をつける.
論文原稿: MainDocument.doc
図: Fig.1.jpg, Fig.2.xls
表: Table1.xls, Table2.xls
8. 図表を転載する場合は出典を明記し, 必要に応じて原著者および発行元より許諾を得る.
9. 著者校正は初校 1 回とする. 返送期日を厳守すること.

【投稿要領】

カテゴリ	本文字数*1 制限	要旨	索引用語	著図・表・写真	文献	著者数*2	英文
原著	10,000 字以内	300 字以内	5 語以内	12 点以内	50 以内	12 名以内	題名, 所属機関, 氏名, 要旨 (400 ワード以内)
症例報告	6,000 字以内	200 字以内	5 語以内	30 点以内	30 以内	10 名以内	題名, 所属機関, 氏名, 要旨 (400 ワード以内)
総説	10,000 字以内	300 字以内	5 語以内	5 点以内	100 以内	3 名以内	題名, 所属機関, 氏名

*1 本文字数 (スペースは含めない) にはタイトル頁, 要旨, 文献, 図説は含まれない.

*2 超える場合は, それぞれの役割や貢献内容を本文末尾に一覧として記載すること.

Ⅶ. 掲載料および別刷り

1. 掲載料は無料とする。
2. カラーチャージ、トレース料金は実費とする。ただし、依頼原稿は無料とする。
3. 別刷りは希望者に実費で作成する。

Ⅷ. 罰則規定

二重投稿*¹、盗用*²および捏造*³への対応は下記の通りとする。

- (1) 論文受付時あるいは査読時に二重投稿・盗用・捏造が判明した場合、当該論文は受付拒否とする。
- (2) 本誌掲載論文が、過去に本誌または他誌に掲載されており二重投稿論文であることが判明した場合や盗用・捏造が判明した場合、当該論文をすべて撤回、削除する旨を誌上に掲載する。
- (3) (1)、(2)に該当した場合には、筆頭著者・共著者に対して嚴重注意を行い、筆頭著者・共著者いずれも本誌への投稿を3年間禁止する。
- (4) 編集委員会の判断で、筆者の雇用主・所属団体への通知あるいは調査を依頼することがある。
- (5) 以下の場合は、二次出版として二重投稿とはみなされない。
 - 1) 政府や各学会から出されたガイドラインなど周知が必要な報告内容。
 - 2) その他、本誌編集部において承認された場合。
 - 3) ただし、いずれの場合も下記のICMJEのガイドライン要綱を満たしている必要がある。

- i. 著者が双方の編集者から許可を得ている。
- ii. 初版の優先権を尊重するため、双方の編集者と著者の間で初版から二次出版までの期間を取り決めている。
- iii. 異なる読者層を対象としている。
- iv. 初版のデータと解釈を忠実に反映している。
- v. 二次出版では、その論文の全体あるいは一部が過去に発表されたことを告知し、初版の論文を引用する。
- vi. タイトルにてその論文が二次出版であることを明示する。

*1 二重投稿とは、本誌への投稿・掲載された論文と同一内容の論文が、本誌もしくは同一原語の他誌に掲載済み・投稿中であった場合を指す。

*2 盗用とは、言語を問わず、既報論文の図表や文言・内容を剽窃・模倣している場合を指す。

*3 捏造とは、事実でないことを事実のようにこしらえて言うこと。（『広辞苑』第5版）

Ⅸ. 投稿先（投稿についてのお問い合わせ先）

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1
株式会社勁草書房 コミュニケーション事業部内
「一般社団法人日本消化管学会 事務局」
TEL：03-5840-6338 FAX：03-3814-6904
E-Mail：jga-secretariat@keiso-comm.com
電話受付時間：平日10：00～18：00

投稿時チェックリスト

- 本論文は他誌に投稿済み、あるいは投稿予定ではない。
- 倫理上の配慮は十分になされている。
- 患者プライバシー保護に十分に配慮されている。
- 自己申告による COI 報告書にもれなく入力している。
- 著者はすべて会員である。(病理医、放射線医は非会員も可、ただし筆頭著者の場合は病理医、放射線医も会員であること)
- 著者数は投稿要領の規定の通りである。超える場合はそれぞれの役割や貢献内容を本文末尾に一覧として記載している。
- 投稿に際して共著者間の同意と配慮は十分になされている。
- 文章の推敲は十分行っている。
- タイトル頁に本文字数(スペースを含めない)を記入している。
- 表紙に責任著者の所属と連絡先の住所、E-Mail address は記載されている。
- 本文字数(スペースを含めない)は規定通りである。
- 要旨の字数は規定通りである。
- 索引用語は適切である。その数は規定内である。
- 図・表・写真の数は規定通りである。
- 題名・所属機関・氏名の英訳がある。
- 要旨の英訳(原著・症例報告のみ)がある。
- 序文と考察の内容に著明な重複はない。
- 文中の英単語の大文字、小文字は確認している。(文頭、固有名詞(人名など)、薬品名、商品名は大文字ではじめ、それ以外は小文字とする)
- 略語の初出は full spell を示し、2 回目以降は略語になっている。
(例)
和文(フルスペル:省略表記):
プロトンポンプ阻害薬(proton pump inhibitor:PPI)省略表記(フルスペル):NBI(narrow band imaging)
- 有意差検定を行った場合、統計法がきちんと示されている。
- 漢字の略語は用いていない。(才→歳、令→齡、午后→午後、巾→幅など)
- 通常ひらがなで表記される語句は漢字にしていない。(～こと、および、～ない、～なし、など)
- 血液検査項目の略語は、一時的なものを用いている。
- 表にあるデータを不必要に文中で繰り返していない。(p 値は図表に示してあれば、文中では繰り返さない)
- 光顕組織像には、組織法と倍率を示している。電子顕微鏡画像にはスケールバーを入れてある。
- 遺伝子記号および学名はイタリックになっている。
(例) *SLCO2A1* 遺伝子, *Helicobacter pylori*
- 引用文献、英文抄録、本文中の spell に誤りはない。
- 英文要旨は Native speaker にチェックを受けている。
- 文献は、規定通りに記載されている。
 - ・引用順に番号を付す。
 - ・英文論文の場合、著者名は family name + initial でピリオドはつけない。著者数は 3 名まで記載し、それ以上は「, 他:」または「, et al」とする。
 - ・英文の場合、タイトルを不必要に大文字にしない。
 - ・雑誌名は正式な略語(Index Medicus 所載)を用い、ピリオドはつけない。
 - ・雑誌の場合、通巻:頁-頁, 発行年の順で、号はつけない。
- 本文並びに画像写真中は患者を特定できないような配慮がなされている。
- 本文中および図に図番号を記載している。
- 図の説明は別紙にまとめて記載されている。
- 表の上段にタイトルが記載されている。
- 共著者を含め会員である執筆者全員が当該年度までの会費を納めている。
- 図表の転載がある場合は、許諾を得ている。または出典を明記している。

上記の点につきまして、すべて確認いたしました。

(西暦) 年 月 日

責任著者名:

印

誓約書

日本消化管学会
和文誌編集委員会委員長 殿

(西暦) 年 月 日

下記投稿論文は、その内容が過去に他誌に掲載されたり、現在も掲載が予告されたりしておらず（投稿中のものも含む）、また自己申告した利益相反報告書の内容が正しいことを誓約いたします。

論文名：

著者名（共著者全員を含む）：署名のこと（13名以上の場合は複写可）

1. 会員番号： _____ 氏名： _____
2. 会員番号： _____ 氏名： _____
3. 会員番号： _____ 氏名： _____
4. 会員番号： _____ 氏名： _____
5. 会員番号： _____ 氏名： _____
6. 会員番号： _____ 氏名： _____
7. 会員番号： _____ 氏名： _____
8. 会員番号： _____ 氏名： _____
9. 会員番号： _____ 氏名： _____
10. 会員番号： _____ 氏名： _____
11. 会員番号： _____ 氏名： _____
12. 会員番号： _____ 氏名： _____